

# 平成23年度 第2回 横浜市立病院等安全管理者会議

日時:平成24年2月28日(火)  
場所:横浜市技能文化会館

## <はじめに>

横浜市内の病院の安全管理担当者の医療安全知識向上や情報共有のために、平成12年度から始まった横浜市立病院等安全管理者会議ですが、この度平成23年度第2回の会議が行われましたので報告いたします。



参加者  
91名

参加病院  
39病院

## <内容>

各部会の活動を報告していただいた後、3病院から「医療安全取組事例・お悩み事例報告」を頂きました。さらに今回は、横浜市立大学附属病院から橋本 廸生先生をお招きし、各報告へのコメントと、最後に「中小規模病院の安全対策」と題してご講演を頂きました。

## <橋本 廸生(はしもと みちお)先生のご紹介>



1975年 東京大学医学部保健学科卒業  
1995年 国際医療福祉大学教授  
2000年 横浜市立大学付属病院  
医療安全管理学教授

## 部会報告

横浜市立病院等安全管理者会議では、5つの部会があり、今回は、放射線部会、看護部会、検査部会、臨床工学部会から報告を頂きました。

放射線部会からは、MR検査室に磁性体を持ち込んだ事例の検討結果や、インシデント事例の分類結果などが報告されました。

看護部会からは、リスクマネージャーの育成について、安全管理者が関わる事例の範囲について、クリニカルインディケーターへの取り組みなどが報告されました。医療安全管理者は「よろず相談部署」となっている、という発表が印象に残りました。

検査部会からは、各施設から持ち寄られたインシデント事例をもとに作成した転倒・転落チェックリストの発表がありました。学会発表など意欲的に行っていました。今後の活用・評価が待たれます。

臨床工学部会からは院内自家発電設備についての各施設の概況などの発表がありました。

橋本先生からは、当会議が発足してから10年超、部会で話し合われる内容も変化するときが来ているのではないか、という示唆的なご意見をいただくとともに、中小病院との連携や、外部への発信が今後重要になってくるのではないか、というコメントをいただきました。

(各部会の報告については、資料をご参照ください)



## 取組事例、お悩み事例報告

今回初めて、市内病院に事例報告を募ったところ、3つの病院から積極的に応募がありました。誠にありがとうございました。

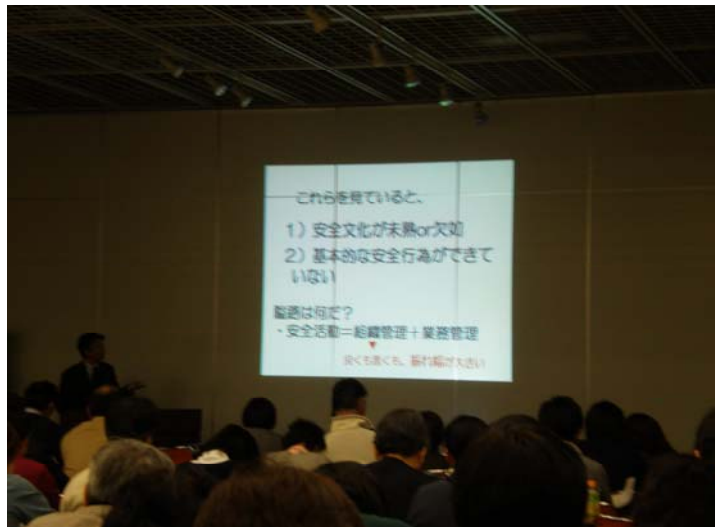
まず、常盤台病院からは「インシデント・アクシデントの活用で悩んでいます」と題して発表していただきました。同様の事例が同じ部署で繰り返される、ある部署の事例が他の部署で共有できない、という問題を提示され、どのように対策をまとめれば良いか、そしてどのように周知すれば効果的に共有できるのか、といった、お悩みを発表していただきました。これに対しフロアからは、「対策を検討するメンバーに必ず現場の担当者を入れるべき」「院内で『セーフティニュース』のようなものを作っては？」「転倒転落が多い、とのことだが、様々な対策を立てても、件数を減らすことを目標にするとなかなか効果が出ない。転倒はしたがアクシデントレベルが低く済んだ、というようなことを目標にしてみるとよいのではないか」などの意見が活発に出されました。

次に、汐田総合病院から、「引継ぎに焦点をあてたヒヤリハットの一考察」の報告をいただきました。「自分の職場のレッドゾーンを知る」をキーワードに転倒転落事例の分析を実施し、引継ぎ時に転倒事例が多く発生していることからその時間帯のベッドサイド要員を厚くしたところ、転倒未遂発見が増えた、という改善事例でした。フロアからは「自分の病院では引継ぎ時間帯との大きな関連はなかった」というご意見がありました。橋本先生からは、「この効果はホーソン効果の可能性があるが、いずれにしろ何らかの対策を立てたのは良いことである。自分の職場のレッドゾーンを知る、という観点は重要である。高齢化に伴い認知症の患者さんも増えてきている現在、



# 橋本先生ご講演 ～中小規模病院の安全対策～

休憩の後、橋本先生から「中小規模病院の医療安全 ～医療安全の地域化(水平展開)」と題してご講演をいただきました。個人・分散化した医療安全の活動が徐々に組織化され病院全体となって行われてきた、と述べられました。さらに在院日数が短縮化され、患者さんが多くの病院を受診することになる今日、地域の病院どうしの活動の標準化などといった、「安全の地域化」への展望が必要である、とのことでした。



次に、近年報道された全国の中小規模病院の医療事故に触れ、①安全文化が未熟or欠如 ②基本的な安全行為ができていないという問題を指摘されました。安全活動とは要するに組織管理と業務管理である、というお話の次に、中小規模病院ならではの課題について述べられました。組織事故を防ぐには安全文化を根付かせなければいけない、安全文化とは「病院にいる人々が『安全』に価値を置き、それを守るために行う行動が当たり前となっている」ことである、という言葉にはハッとさせられました。

また、基本的な安全行為ができていないことへの対策としては、まずはKYTと5Sを推奨する、というお話がありました。

最後に、鹿児島県医師会を中心とした先進的な取り組みなどを示された上で、横浜市でも、医療安全管理の地域版戦略を、行政や、医師会や、看護協会などが中心になって仕掛けてはどうか、とご助言をいただきました。

(講義の内容については、資料をご参照ください)

新たな試みもあった第2回会議でしたが、今後の方向性についての課題と道筋が見えたような、有意義な会議でした。

## ○アンケート結果(参考)

ご協力ありがとうございました。主な結果を下記にお示します。  
(※端数を四捨五入しています。)

有効回答84

### 施設

メンバー	52	61.9%
以外	31	36.9%
回答なし	1	1.2%

### 過去参加

ある	48	57.1%
ない	36	42.9%

### 職種

医師	7	8.3%
看護師	42	50.0%
放射線技師	8	9.5%
臨床検査技師	7	8.3%
臨床工学技士	11	13.1%
事務職	3	3.6%
薬剤師	4	4.8%
その他	2	2.4%

### 部会報告について

満足	12	14.6%
どちらかといえば満足	35	42.7%
どちらかといえば満足せず	31	37.8%
満足せず	4	4.9%

### 取組事例、お悩み事例報告について

満足	23	27.4%
どちらかといえば満足	50	59.5%
どちらかといえば満足せず	11	13.1%
満足せず	0	0.0%

### 橋本先生のご講演について

満足	46	55.4%
どちらかといえば満足	33	39.8%
どちらかといえば満足せず	4	4.8%
満足せず	0	0.0%

### 今後の参加希望について

したい	50	60.2%
どちらかといえばしたい	28	33.7%
どちらかといえばしたくない	5	6.0%
したくない	0	0.0%

作成:横浜市健康福祉局 医療安全課